

# NEWS RELEASE

平成 29 年 5 月 11 日

報道各社 御中

浜松市中区千歳町 91-1  
浜松まちなかにぎわい協議会

## 「5/20（土）と 21（日）はまち歩きを楽しもう」企画について

日頃より当団体の活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
このたび本年度の当団体のまちなか回遊促進事業のひとつとして下記取り組みを実施いたします。  
各社におかれましては、取材方ご協力をお願いいたします。

### 【まちなか回遊促進事業とは】

まちなかへの来街者の増加と、来街者の回遊性向上を目的としてまちなかの事業者や事業者、イベント主催者と共に各種取り組みを実施・検証をしていく事業で、平成 26 年度から実施しています。

平成 26 年度…駐車場無料化実証実験

平成 27 年度…駐車場サービスと組み合わせた回遊促進キャンペーンの実施（マチナカ GO 週間）

平成 28 年度…テーマ性を持たせた回遊促進キャンペーンの実施（浜松まちなかハロウィン）

### 記

#### 1. 企画名称

「5/20（土）と 21（日）はまち歩きを楽しもう」

#### 2. 開催日時

平成 29 年 5 月 20 日（土）、21 日（日）

#### 3. 企画背景

まちなかでは様々なイベントが同日に開催されていることがありますが、来街者は同日に複数のイベントが開催されていることを知らず、せっかくひとつのイベント目的に来街しても他のイベントをまわることなく帰ってしまいます。その結果、イベント目的の来街者の滞留時間は短く、まちなか店舗への経済効果は少ないのが現状で、まちが抱える課題のひとつとなっています。

その課題を解決するため、各イベント主催者およびまちなかの事業者の協力の元、本企画を立案しました。

#### 4. 目的

- ① イベント来場者の滞留時間の延長（各イベント会場の回遊性向上）
- ② イベント来場者によるまちなか店舗への経済効果の創出

（裏面もご覧ください）

## 5. 具体策

上記①②の目的を実現するために下記具体策を実施します。

- ◆ イベント同士のコラボレーション企画
  - ▶ まるたま市出店者への遠州綿紬生地提供（まるたま市×はままつ染め織りマーケット）
- ◆ イベント紹介や開催場所が記載されたマップ入りのチラシ制作
- ◆ イベント当日、各イベント会場受付にて上記チラシの来場者への配布
- ◆ 5/20（土）21（日）の2日間だけまちなかの74店舗で使える「まちなかくるくるチケット」の企画販売
- ◆ イベント当日、各イベント会場受付にて「まちなかくるくるチケット」の来場者への販売
- ◆ 「まちなかくるくるチケット」提携店舗店頭でのオススメ商品などを記載したPOP掲出
- ◆ 5つの提携駐車場で使用できる5時間500円券を各イベント会場で販売

### 【まちなかくるくるチケットとは】

イベント来場者にまちなかの店舗でも買い物や飲食をしてもらうことを目的に企画した、5/20（土）21（日）だけまちなかの店舗で使うことができるお得な金券で、1000円で1100円分のチケットを購入できます。

発売期間：平成29年5月1日（火）～21日（日）

使用期間：平成29年5月20日（土）・21日（日）

発売箇所：前売：Any、まるい園、BOOKS AND PRINTS 当日：各イベント会場、Any

販売価格：1,000円（74店舗の加盟店で使える100円×11枚綴りのチケットを販売します。）

販売枚数：500セット

## 6. 企画参加団体・事業者（カッコ内は主催イベント）

- まるたま市実行委員会（まるたま市）
- はままつ染め織りマーケット実行委員会（はままつ染め織りマーケット）
- KAGIYA MARKET 実行委員会（KAGIYA MARKET）
- 砂山銀座サザンクロス商店街（サザンクロス商店街朝市）
- ART MESSE 実行委員会（ART MESSE HAMAMATSU 2017）
- アクト通り利活用事業実行委員会（アクト通りふれあいデイ）
- まちなかの事業者74店舗 ※添付資料参照

## 7. 本件の連絡先

浜松まちなかにぎわい協議会 まちなか回遊促進事業担当 伊藤典明、杉浦宏昭

TEL:053-459-4320（平日9:00～18:00）

Email：[machinaka15@gmail.com](mailto:machinaka15@gmail.com)

今後も当団体ではこのような取り組みを実施していく予定です。

まちなかにちらばっている様々な情報を取り纏めて発信することを当団体が担うことで、まちなかエリア全体の魅力向上と、まちへの集客力強化に寄与できるのではと考えています。

また、本取り組みは来街者増加だけでなく、来街者の回遊性向上、さらには事業者への経済効果を生み出していくことのできる取り組みへと発展させていきたいと思っています。